

公民連携箕面観光戦略会議 第2回策定部会 議事要旨

箕面市観光協会

日時:令和4年9月20日 19時00分～21時15分

会場:箕面文化・交流センター 8階 大会議室

出席者:会場出席者 22名/オンライン出席者2名

(公民連携箕面観光戦略会議 第2回策定部会 出席者名簿 参照)

1.開会の辞

事務局より開会が宣言され、議事に入るまでの間、事務局が司会進行をおこなった。

2.議事

(1)ハーツベリー企業共同体より「箕面市の観光についてのアンケート調査」に基づき調査結果報告をおこなった。

(●:各委員 ○:柚木座長(委員の意見を受けて))

●アンケート結果の最後の自由記述の提言の部分で、「美味しい食事・お土産の開発」や、「観光スポットは淹しかない、名品はもみじの天ぷらしかなく、いろいろな店があるが特に買いたいと思うような品はない」という回答について、土産物販売に関わる身として頑張らないといけないと思った。来訪いただいて楽しかったと思ってもらうには、魅力的なお店がどうしても必要だろうと感じている。

○情報をきちんと出したいと考えている。良いものがあるのに、本当に欲しいと思っている人には届かず、磨かれたものが欲しい人に伝わってないという現状がある。本当に欲しい人にリーチができるように、これから、いろいろ改善できる状況にしていきたい。

(2)ハーツベリー企業共同体より、第1回の策定部会で委員から出た意見に関して、事務局で整理した内容(「公民連携箕面観光戦略会議第2回策定部会検討資料」P23、P24)の説明をおこなった。

(●:各委員 ○:柚木座長(委員の意見を受けて) ◎:事務局(委員の意見を受けて))

●郷土資料館と観光案内所の場所は、箕面駅を降りて分かりづらい場所にあり、見つけにくい方もおり、営業時間についても問題である。利用者に対して、目立つような工夫をしていただいた方がいいのでは。

◎郷土資料館、案内所の場所、営業時間については、考察が必要という認識でいる。また、直近に出来ることとしては、観光マップでの強調した紹介や広報の機会を増やすという形で対応していく。いただいたご意見を踏まえて、他に方法があるのか、引き続き検討していく必要がある。

●郷土資料館において、コンテンツ、内容、それ自体魅力を充実させていくということも非常に大事だと考える。1 回流し見したら終わりとなってしまいう場合が多く、ここにもう少し体験型コンテンツを入れるなど、普段やらないような体験を盛り込むことで、こんな郷土色が豊かなところですよっていうことをアピールしていく。例えば、カルピスの試飲や音楽コンサート等、何かいろんなことを箕面市の魅力あるコンテンツとしてそこで紹介していく。そんなことも必要ではないかと思う。

○観光地によっては 1 回しか行かない所もある。興味がないということもあるかもしれないが、もう 1 回訪れていただけるような作り込みは大事だと考える。例として、他市のミュージアムにおいても、同じ人が 1 回ノベルティを作って、同じノベルティを作るためだけに 2 回目は来ないという事例があり、通例とは違うようなイベントを組み込むことで、リピーターになってもらえる事も考えておられるので、そういう方向も含め検討する。

●以前の会議で、ガストロノミー(食文化に文化的要素を織り交ぜる)という発言をし、ローカルにおいてはすごく大事なことだと思っている。資料に地産地消を推進すると書かれているが、例えば箕面の土地の生産者さんとのマッチングとかそういったことも期待していいのか。

◎ご発言いただいた内容も含めて、アクションプランの策定を委員の皆さんには願いますので、そこで改めてご意見をお伺いする。

●何度か来訪される方は、滝だけではなく、箕面の植物にすごく興味のある方も多く、先日も観光協会を通じて「鱗木はどこに咲いていますか？」という問い合わせがあっ

た。季節ごとの花とか植物を求めて来られる方はすごく多い。ビジターセンターでは今こんな花が咲いていますという、手書きのボードを置いている。そういう感じで、駅前とかに季節ごとの植物の案内をすれば、滝道でこれを見つけようとか、他のものや植物を求めてこられる方でも、ここにはこんなものがあつたのかと行動範囲が広がり、その季節ごとに来ることを楽しみにされる方が増えるのではないかな。

○観光戦略素案へは、情報プラットフォームという仮称で記載している。皆さんからいただいた情報が点と点になっていることが非常に多いので、できればその点と点を線に結び、お金にするために面にする必要がある。先ほどの郷土資料館の例でもそうだが、単体では点なので、その点と他とを結ぶために、情報発信するモノをアクションプランの一つに掲げたい。回答が若干それるが、サイン計画について、全体会議、策定部会でも話した。例えば、箕面って検索において漢字・ひらがなで打つときも「みのう」「みのお」と選択打ち込みする人もいれば、今のインターネットでは語尾が「う」でも「箕面」と出てくる。例えば、これをローマ字表記の選択にした際は、「MINOH」なのか「MINO」かで、外国人の方が、「MINO」を選択すると「美濃」となってしまう、全然違う所に案内をしてしまうことになる。このように情報が錯綜するので、統一しながら可能な範囲で Web 等で様々な情報発信をしながら進めていくところに繋げていきたい。今、いただいたご意見も反映させていきたい。

●若いカップルをターゲットにした戦略を考えていってはどうか、ということに関して、ターゲットはとても重要な視点であり限定的ではあるが、若いカップルをターゲットにした場合、何をどこで提供するのかとか、価格帯としては手ごろな感じにするのか、本格的な感じにするのかといったところに繋がるので、これらは議論をしないといけないと思う。もう一つは、肉体年齢とマインドというのがある。ヤングとヤングマインドとなり、結構年配の方でもマインド的にはヤングという方もおられる。そういう意味で、ここは少しターゲットについてはメインターゲットとおそらくサブターゲットみたいなことで議論していただいたらと思う。

◎全てにおいて若いカップルをターゲットにするということではなく、ご意見としていただいたものに対して、箕面観光の目的 3 に正しく合致するという意味で回答しており、全てのアクションプランにおいて若いカップルをターゲットにしたものという意味での回答ではない。ターゲットも含めて、それぞれの設定という所が必要だと事務局としても考えている。

●若いカップルをターゲットにした戦略を考えていってはどうかというのと合わせて、「観光と商業の一体化の視点が必要、周辺の商店街も一体として何か考えられるのか。そうでないのか。」という意見の中で、関連した提案になるが、例えば、「婚活パーティー」の様な形で、まず箕面に來訪する「きっかけ」というものを作る機会を設けることが必要だと考える。滝を見て、その後には、どこかの商店街の皆さんにご協力いただき、お食事をとっていただいて、その帰りにお土産を買っていただく、どこかの場所で告白タイムみたいなのをやっていただく。こういう企画で箕面 FM さんのような地域媒体が企画すれば、魅力が広がるのではないか。

○第 1 回目の策定部会の時にも、お寺で式を挙げるといふ話も出ており、似ている部分もある。次のアクションプランでは、数年でどういったイベントをするといふのかというアイデア出しをして、形にしていきたいと考える。

●座長のお話の中で、点と点を繋ぎそれを線にしていく為にはどうしたらいいかという部分で、配布された資料の年間スケジュールを見ると、いつどこに行けばいいのかわかり易い。個々で開催している、魅力的なイベントを同じテーマで繋ぐことは可能か。お互いに紹介しあえて、SNS などでも広がっていけるのではと感じる。

○ここ数カ月程、箕面を歩いたが、同じようなイベント等、違う時期にバラバラに開催したり、主催がよく分からないようなものもあったので、ある程度わかるものを一覧にしていく。例えば HP も、ビジュアルで見られるようにすれば開催場所などわかりやすい。文章の列記だけをしているのは分かりづらい面があるので、あくまで素案として細かい情報を集約していく中で、効率よく発信できるように構築していく。この年間スケジュールに記載されているイベントが元々あるということで、これを踏まえながら、改めていろんなイベントをこの時期に実施しているといふものを発信して、情報を集めながら、もっと効率をあげていきたいと考える。

●先ほどの花の話の様に、公園の中にはいろんな虫もいるので、そういうサインをいろんな箇所に明記するか、明記したものを配布してはどうか。駅前の駐車場に車を停め、滝道が上がっていく親子が多い中で、純粋に上がっていくコースだけではなく、「達人コース」や「賢者コース」などといふような道で滝を目指すルートを紹介してはどうか。また、遊びに來た方からは、休憩の取れるベンチなど休む所があれば、滝だけではなく滝道の中で緑を見てホッとできるが、ちょっと休む、座る場所がないという意

見がとても多い。また、景色として、滝の前がいまだに変わらない。滝の前も変化をつけていくことも考えていかないと、若い世代に沿ったような観光地ではないのではと思う。

○おっしゃる通りで歩いていて休憩したいが、なかなか小休憩出来る場所がない。滝道は滝に到着して見たら終わり、また見に来ようかっていうのはあんまりない。そこにお金を使うとか、次に何かをしようというのが少ないというのが本音だと思う。秋だから紅葉を見て最後に滝があるというのは一つかもしれないが、その先に行くものがない。魅力ある展開を、このアクションプランの中で考えていきたい、通年も踏まえ、また通年だけでなくアンケートの回答にもあった、次にアクションを起こそうというものがないので、魅力があるものがあれば打ち出していきたい。観光や旅行等に出かけたときに満足してない所だと、お土産等は買わないと思う。魅力のあるところに行けば帰りには何か買って帰ろうという思いになり、再訪しようというように思えるので、今のご意見も踏まえてアクションプランの中で組み込んでいきたいと考える。

(3)ハーツベリー企業共同体より、観光戦略の修正内容(「公民連携箕面観光戦略会議第2回策定部会検討資料」P1～P22)の説明をおこなった。

(●:各委員 ○:柚木座長(委員の意見を受けて) ◎:ハーツベリー企業共同体)

● 今回の資料において前半部分の説明は理解できるが、P14の所から解りづらく感じる。いろいろな目的がある中、観光ブロックエリアでの戦略という部分において、説明を聞く限りは、テーマ設定があり、数年後に実現できたらいいなと思う。しかし、ここの表現自体が、全てのブロックエリアにおいて観光が主役にならないといけなように感じる。例えば、萱野や船場は観光じゃない分野でも主役になれる場所であると思える。観光よりも他の目的が強いような気がしている。今回の資料は観光戦略という中で同じトーンで表現されながらも、実際はあんまり描かれてなく、数年後達成できればという表現になっている。箕面駅周辺であったり自然であったりと、その辺りから重点を置きつつその魅力を表現する。資料には波及効果があるような図示表現等で、萱野・船場・東部地域等他にも魅力のある場所があるという事を示して興味を持ってもらえるようにするなど、全部が観光の主役では無いような表現にした方がよいように感じる。同じく、P14の下図表も同列表現がされているが、萱野・船場・東部地

域は分けてもいいのではないか。それらは主たるエリアからの波及効果を期待するブロックといった表現の方が支障はないと思う。P19 下部の新駅について、ビジターセンターの整備という具体的表現があるが、数年後にできたらいうふうな話なのであれば、突出した表現に感じる。箕面エリアを中心に観光をアピールして、来訪者に箕面の魅力を発信して、波及効果で他のエリアにも行ってくださいというまとめ方の方がすんなりと入ってくるのではないか。結局、具体的なアクションプランは箕面駅周辺エリアに絞られていくのであれば、そういう意味からしてもまとめ方を少し工夫したらいいのではと思う。

○この段階での観光戦略案は、あくまで皆さんにアクションプランを検討してもらう上での素案で、これらを全てやろうということでもなく、これを必ずここに書いておこうということでもない。観光の先には「まちづくり」があるので、どうしてもまちづくりの話が若干入ってきてしまう。ご意見を参考にしながら、策定していく中で検討していく。

◎今後の観光の形というのは、いろんな形があると思う。例えば「自然のない観光地」というのもある。どういう観光の形にしていくのかという所は、サブではないかもしれないし、全体の中で構成される、ということもありえる。例えば、現在のウェルネスツーリズム等は、ただ体を動かすだけではなくて、身体の検査とかケアも含めた中でツーリズムというのが成り立つという事例もある。いろんな形で対処していくような考え方というものは記載しておきたく、こういった表現になっている。

●資料に関しては、内容が多すぎる印象を受けた。アンケートからも人気の観光地が国定公園と勝尾寺ということであれば、そこに焦点を当てて議論していった方が良いのではないか。皆さんのご意見では、観光資源の保全、トレッキング、コンテンツ、若いカップル等、滝道と勝尾寺を中心に、どうしていけば来てもらえるか、その辺りをサンプルに検討してはどうか。休憩場所がない、空き家の活用方問題など、それらは一連に繋がっていくのでは思う。

○策定部会は全4回ぐらいを考えており、1回目は素案を出して、2回目までそれを反映し、今回のブロックエリアの考え方について別のご意見も多いようならば、3.4回目からそのあたりを絞った形にさせていただきたいと思う。

(3)ハーツベリー企業共同体より、アクションプランの構想(案)の検討について(「公民連携箕面観光戦略会議第2回策定部会検討資料」P25～P28)の説明をおこなった。

(●:各委員 ○:柚木座長(委員の意見を受けて))

●数年前の台風被害において、復興イベントを大滝前で行った際、身動きできないくらいの人で一杯になった。11月という時期、夜というところもあって、近隣での飲食店・お土産店が潤ったとお伺いした。これは皆さんがアートの感動とともに食のアートも楽しまれたということで、1+1ではなく1+1はもっとプラスになるということを実感した。「滝道」について、役行者が開山されて700数十年という、高野山よりも比叡山よりも前という非常に深い歴史がある。それらを盛り込んで、箕面の歴史をPRしてはどうか。瀧安寺の客殿を活用するのはどうか。例えば、そこで箕面の民話の朗読や+α演奏も加えたり、歴史と音楽を掛け合わせたり掛け算をやっていくのはどうか。その様な色々な要素を掛け合わせていく。単発イベントで終わらせずに小規模でも持続的展開をしていく。

●箕面の森の音楽会には3つの目的がある。1つ目は、自然を大切にしようという気持ちを育む。2つ目は、全部が市民の手作りであり、演者と観客であるお客さんが一体化すること。3つ目として、音楽の神様である弁財天を祀っている瀧安寺の近くで実施する。例えば、この音楽祭のコンセプトを、今も昆虫館の前で音楽会の開催としているが、プラス滝道沿いでも開催する、エリア別でいくと瀧安寺弁財天さんは箕面の公園箕面の森と位置づけ、他のエリアでも音楽祭をやるという形はどうか。今あるもの、歴史の中にあるものを掛け合わせて、色々な場所で音楽をやるという表現も面白いのではないかな。自然とか生物多様性とか歴史文化とか風土とかいうのを保全しながら、それをちゃんと減らさずに次の世代に残して行って、地域の活力に繋げていくという意味では、持続可能という所を、やはり前段階の戦略の概念の中には、もっと取り入れていただきたいと思う。さらに上位概念として、第2期の箕面市まちひとしごと創生戦略というのがP1目に入っている。最近、大阪府が万博を見据えて「大阪府いのち輝くSDGs未来都市大阪」というふうにSDGsのことを出している。箕面においても、第5次総合計画の中にSDGsが入っているので、SDGsについても触れておいた方が良くはないかな。もう一点、シビックプライドについて、沢山の市民の団体の方がいろんな活動をされており、SWOT分析でいくと、行政や事業者以外が活動主体というところで、市民団体の活動というのが逆に強みであると思う。

資料には、シビックプライドで理解興味を広げると書いてあるが、もう少し市民の方に共感を呼ぶような、ストーリー付けをすると、わかりやすく広がっていきやすい。寄付の記述について、寄付を得ようとしたら、事業者さんや企業さんの利益が出るということだけでは、当然得られない。旅行商品(モノ・コト)を提供の際には、公益的なことに使うためのコストが含まれているという説明が必要。箕面らしいとか上質だとか、そういったものを儲かるだけじゃなくて、サステナビリティに生かされているということを含めた観光商品にするべきだと思う。

- 箕面観光に来てもらう機会を増やしたい、通年来てもらえるような観光地にしていきたいということ、アクションプランの中で検討すべき。特に箕面の通年観光のところについては、皆さんと一緒に検討していく必要があるのではないかなと思う。
- 先ほど、音楽と歴史文化という話があって、私の方でも10年にわたってアートや美術を通じて、歴史文化と関わり箕面の魅力を発信してきた。アートとか音楽というのは、その魅力が時空を超えて発信できるようなところがある。そのアートを使った観光戦略を、一緒に考えていきたいと思う。
- 通年観光のコンテンツを考える中で、あわせて、昼から夜への滞在時間の延長ということも含め、夜のコンテンツをも含めた充実を図っていくというようなことを、アクションプランの検討に付け加えたい。観光行政を所管しており、この場をお借りして4つ伝えさせていただきたい。まず二次交通について、箕面の大きな課題に秋の紅葉シーズンの渋滞があり、今後のプランを考えたいと思っている。箕面駅まで阪急電車で来訪頂き、そこから二次交通に乗り換えていただくことでマイカーの抑制を図り、なおかつ点在している観光地を線で繋いで面展開していくというようなあり方を考えていきたい。2つ目が、情報プラットフォームとかDXについて、今後の観光戦略を考えていく上でデジタルと切り離すことはできないと思うので、デジタルをどう有効的に活用していくのかどんな仕組みを作っていけるか、情報プラットフォームやDXというところの具体的なイメージをみんなで考えていきたいと思う。3つ目は、インバウンド等について、これから必ず戻ってくるので、誰に対して何をどのように言い伝えていくのか？アクションプランでよいお話ができればいいと思っている。4つ目は、サインについて、サインについては統一的なデザインというところがあり、まちなみも含めて考えていければよいと思う。これらを挙げた際に事例として思いつくのが、長浜の黒壁スクエアのようなまちなみになったことで活性化したという事例があり、で

は、箕面はどうあるべきなのだろうとなった時に、その部分には触れるのか？否か？も含めて考えていけたらと思っている。

- 情報発信について、PR CM みたいなものを作って、違う地域とかに流すことで、箕面市を他の地域の人たちにも知ってもらって、観光に来ていただく人を増やすことに繋がられるのではないか。
- 若者をターゲットにすることについて、産官学連携のトライアングルで行政だけではできない。また、民間の方だけでもできない。学生さんの持つエネルギーとかを付加していく。具体的には、大学祭等のイベント的な部分に、こちらのイベントが乗っかっていく。逆に、学生さんがボランティアとして、今の観光としてのどこかを補っていく、行政はそれをフォローする。座長よりお話のあった、年間の行事の部分があったところを繋いでいくという処においては、エネルギッシュなことが考えられるのではないかと思う。もう一つは、そこを戦力として考えていくときに、大学生や高校生を観光ボランティアも含めて、アルバイトとか何かそういうような形のものにできないのだろうか。また、地元でこういうような形を育てていく観光のあり方が、一つの「箕面のポリシー」だというようなことがわかるようなデザインをしていく。音楽があり、いろいろな芸術もあり、スポーツ的な部分など多数の要素を学生さんは持っているので、戦略部分において足りない部分を補完していただけるような動き等も付加して頂けたらと思う。
- 観光での消費拡大も目的の一つだと思うが、何を売のかまだわからない。これからアクションプランで絞っていけるのかを心配している。嵐山でミッフィーのパン屋が売り切れているという事例もあり、若い人をターゲットにするなら、若い人向けのそこでしか買えないようなものがあつたらと思う。今回の議事はアカデミックな内容になっているが、「滝ノ道ゆるる」などゆるキャラが何か担う必要もあるかもしれない。
- 現状は意見集約でアクションプランを作るという形だと思うが、具体的に事務局の方で、何かメインのアクションプランがあるのか。音楽やアートや歴史や自然を紐づけていくといった具体的なアクションプランがあつて、議論しながらあと紐付けていくという方法にするのか。何か具体的なハードとか、またイベントであるとか、そういうのがあればお聞かせいただきたい。

○今後、策定部会分科会を開催していく予定で、分科会で詳細を重ねて策定部会にあげていくという流れで、具体的なアクションプランというのは無く、配布資料は素案という形で提案している。資料が全てではなく、委員の皆様が考えておられることで事務局が知らないことも沢山あるので、委員の皆様の意見を反映していきたいと思っている。

●分科会は何回実施するのか。

○回数は決めてはいない。すぐに回答できる内容のものもあれば、回答に時間をかけないと、いけないものもあるかもしれない。

(4)事務局より策定部会 分科会について説明をおこなった。

アクションプランの具体的な内容について検討進めるため、テーマを絞った形で分科会を実施していく。第一回目の分科会は9/27火曜日の夜7時から。テーマは追って事務局より各委員へ連絡する。

(5)事務局より策定部会 当日追加配布資料について説明をおこなった。

当日追加資料として、年間イベントスケジュールと追加掲載イベント資料を配布している。追加掲載イベント資料は案であり、滝道周辺における観光事業年間スケジュールの中身の充実を図る為に、今後利用する予定である。当日追加資料については、オンラインの出席者に提示できてないため、会議後、オンライン出席者へ配布する。

●公民連携箕面観光戦略会議 第2回策定部会 出席者名簿

分野	団体・組織名	策定部会	備考
有識者	地域活性化伝道師(内閣府登録)	柚木健 様	座長
商業者 事業者	箕面物産商組合	奥野輝夫 様	
	みのお滝道本町会	久國香保里 様	
	みのおサンプラザ名店会	堀戸由紀夫 様	
	大江戸温泉箕面観光ホテル	安松隆行 様	
	阪急電鉄(株)	小紫美香 様	
	銀河交通(株)	中村剛 様	オンライン出席
	(株)阪急交通社	大下修平 様	
寺社関係者	勝尾寺	小嶋隆文 様	
	西江寺	小倉叡裕 様	
まちづくり団体 観光関係団体	箕面FMまちそだて(株)	前田直哉 様	
	箕面公園管理事務所	甲斐あゆみ 様	
	箕面青年会議所	高橋諭吉 様	
	箕面都市開発(株)	広瀬幸平 様	
	箕面観光ボランティアガイド	米田真理子 様	
	みのお山麓保全委員会	高島文明 様	
	箕面市観光協会旅館部会	石田嗣人 様	
	箕面市音楽協会所属 アンサンブルアルモニ	吉岡邑玲 様	
	箕面の森アートウォーク実行委員会	中谷雅代 様	
行政関係者	池田土木事務所	石黒明伸 様	
	北部農と緑の総合事務所(みどり環境課)	穂積佳子 様	オンライン出席
	箕面警察署(交通課)	東志穂 様	
	箕面市地域創造部	葦澤宣雄 様	
	箕面市教育委員会(文化国際室)	小林和幸 様	